

令和7年6月27日（金）

令和7年度全国特別支援学校病弱教育校長会

第1回研究協議会



総合的な学習の時間における 実践について



滋賀県立守山養護学校

福井 亜由美

守山養護学校（本校）の概要

年間在籍児童生徒数	【R1】 113人 → 【R6】 57人 ※コロナ前の1/2
教育課程	【R1】 単一53%：重複47% → 【R6】 単一46%：重複54%
在籍期間	15日以下の割合の増加 最多31日～60日
主な疾患	整形外科 8割：小児科 2割
前籍校	【R6】 県内72%、続いて近隣の府県

滋賀県の環境学習

本校小学部の環境学習

本校小学部の総合的な学習の時間

- ①ねらい
- ②授業づくりの難しさ
- ③留意点・工夫
- ④大切にしたいこと

子どもたちの1日

学校（本校）

校 時	時 間
登校	10:20～10:35
朝の会・朝の学習	10:35～10:45
第1時限	10:45～11:25
第2時限	11:35～12:15
昼食／休憩	12:15～13:05
第3時限	13:05～13:45
第4時限	13:55～14:35
第5時限	14:45～15:25
第6時限(火のみ)	15:30～16:10
下校	14:35／15:25 ※16:10

総合病院（こども棟）

6:00	検温・起床
7:00	朝食
8:00	入浴
9:00	リハビリ・治療
10:20	登校開始
15:25	完全下校（火のみ16:10）
15:00～18:00	おやつ・治療・リハビリ・入浴
18:00	夕食
19:00～	学習
21:00	消灯・就寝

R6 (2024) 主な疾患と前籍校

診療科	割合	主な疾患
整形外科	約 8 割	股関節脱臼 臼蓋形成不全 ペルテス病 脊柱側弯症 環軸関節回旋位固定 内反尖足 両足趾屈趾症 軟骨無形成症 等
小児科	約 2 割	てんかん 糖尿病 胃瘻造設 脳挫傷 等

前籍校	滋賀県	県外		
		近畿	中部	関東
人数 , %	41人 , 72%	11人 , 19%	4人 , 7%	1人 , 2%

滋賀県の環境学習

びわ湖フローティングスクール 「うみのこ」 (小5)



学習のねらい

- ふるさと滋賀や琵琶湖の自然を体感し、そのすばらしさに気づく。
- 琵琶湖の現状を知り、環境について考える。
- 郷土を大切にしたい気持ちを育み、環境保全へ向けて行動しようとする。
- ふれあいを深め、友情をはぐくむ。
- 約束やルールを守り、規律ある生活を送る態度を養う。
- やさしさや思いやり、協力しあう心をはぐくむ。

森林環境学習 「やまのこ」 (小4)



学習のねらい

- 森林に入り、木や草花などにふれ、森林に興味をもったり、親しみをもったりする。
- 森林での体験を通して、森林のはたらきや重要性について理解を深めることができる。
- 森林の中の危険性に気づき、回避する力を身につける。
- ルールを守り、楽しく体験学習をすることで、優しさや思いやり、協力し合う心をはぐくむ。

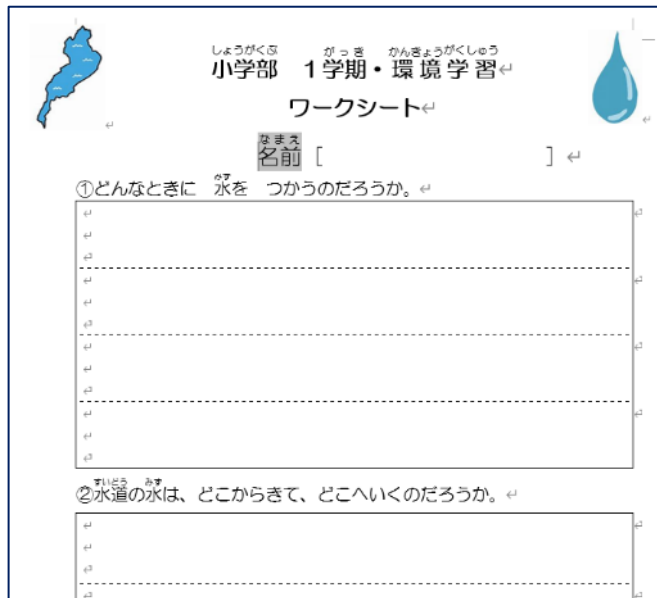
本校小学部の環境学習

1 学期

びわ湖

「わたしたちと水」

- 水の役割
- 水とびわ湖の関係
- 「びわ湖の日」
- びわ湖を守るために



しょうがくぶ がつる かんきょうがくしゅう
小学部 1学期・環境学習
ワークシート

なまえ 名前 []

①どんなときに 氷を つかうのだろうか。

②水道の水は、どこからきて、どこへいくのだろうか。

2 学期

自然環境体験

「自然環境に興味や関心をもとう」

ネイチャーゲーム

- 中庭で、秋のにおいや音
- 講話・クイズ
- 落ち葉などに触れる

クラフト活動

- 木の実、葉、枝で作品作り



3 学期

ほたる

「ほたるを知ろう」

- ほたるについての知識
- 生き物や自然の大切さ
- ゲンジボタルの一生
- 幼虫の観察



本校小学部の総合的な学習の時間 ①ねらい

- 探究的な姿勢で、学習に主体的、創造的、協働的に取り組む。
（学びに向かう力）
- 自ら立てた課題に対して、情報を集め整理・分析してまとめ、表現する。（思考・判断・表現等）
- 探究的な学習の方法や課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。（知識及び技能）

本校小学部の総合的な学習の時間 ②授業づくりの難しさ

病弱教育校の特徴

生活環境の変化や治療過程において、児童の実態は変化する
県内外各地からの転入のため、個々の学習で得た知識や生活経験が大きく異なる

近年の課題

児童生徒数の減少

在籍期間の短期化

感染症対策による実体験の制限

総合的な学習の時間の授業計画の難しさ

各校では、まとまった期間で取り組まれる場合が多く、
在籍期間中に必ずしも実施計画があるとは限らない

コロナ前

複数の縦割りグループを編制
各グループでテーマを決めて活動

現在

集団が組めない
個別での取組となることが多い

本校小学部の総合的な学習の時間 ③留意点・工夫

授業づくりの留意点・工夫

- 体調の変化を的確に把握したうえで、必要に応じて休憩時間を適宜設定したり、学習活動を調整したりする。
- 前籍校の学習進度をもとにして指導計画を立てることで、未履修をふせぎ、切れ目ない学びを実現する。
- 治療の見通しをもとに、体験的な活動を重視する指導内容については、学習の連続性に配慮しつつ、順序を変更して取り組む。
- できる限り本物に触れる体験活動を取り入れる。
- 教科等横断的な学習内容を踏まえて指導する。

1 学期

小3 「住みよいまちづくり」
目の不自由な人のくらし
耳の不自由な人のくらし
新聞作成・掲示

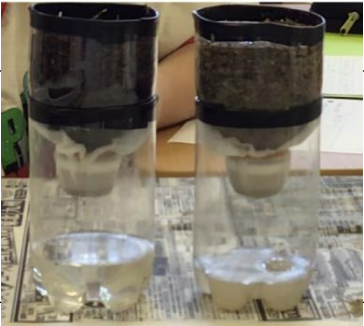
2 学期

小4 「森とわたしたちのくらし」

- ・ 入院治療のため、「やまのこ」の学習活動には参加できない状況に対し、体験的な活動を通して得られる学びを保障する。
- ・ 学習効果を高めるため、体験的な活動は、ギプスが外れ、安定した座位姿勢をとることができるようになる時期に計画する。

前籍校の学習進度、治療の見通しを考慮した計画＊本物に触れる体験活動

「やまのこ」実施予定日		月/日	治療の見通し	学習時の姿勢	移動手段
前籍校	本校				
		X/Y	入院		
		X/Y+1	手術・体幹ギプス装用	ベッド上臥位	ストレッチャー
X/Y+15					
	X/Y+29			課題設定	
		X/Y+30	★ギプスカット	★車椅子座位 ネイチャーゲーム、クラフト活動 間伐材の観察・カット	★車椅子
		X/Y+48	免荷	★学習椅子座位 土の観察、透水実験	P C W
		X/Y+51	1/3荷重 →1/2荷重 →2/3荷重	振り返り、疑問点の調べ学習 発表準備	
		X/Y+71	全荷重		松葉杖
		X/Y+72		発表	フリー歩行
		X/Y+77	退院		

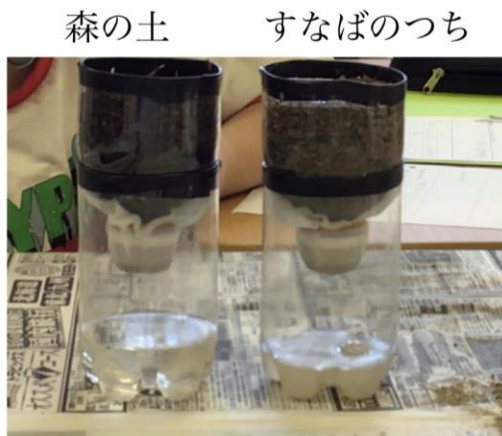


教科等横断的な学習内容を踏まえて指導

国語科や社会科での表現活動（分かりやすい文章の構成やタイトルの重要性、視覚情報の効果等）を生かして作成したまとめの資料

森の土のはたらき

	森の土	砂場の土
特ちょう	黒い、固まっている	すなぼこりが出る うすい色
水のしみ込み方	土が大きくてすき間にしみこむ 速くしみこんだ	土が小さくてあまりしみこまない おそくしみこんだ
土を通して出てきた水の様子	きれい	にごっていた



理科や社会科で学んだ知識や調べたことを試行錯誤しながら結び付け、水の循環の様子を表した図



本校小学部の総合的な学習の時間 ④大切にしたいこと

適切な時期に計画

もてる力の引き出し

本物に触れる体験活動の設定や
疑似体験の組合せ

実感を伴う学び

各教科等との関連を
意識した計画

各教科で身に付けた
知識の活用

主体的に課題解決を
図ろうとする態度



ご清聴ありがとうございました



写真「(公社)びわこビジターズビューロー」